

熱中症対策における 群馬ヤクルト販売（株） との連携について



2024. 2. 1 LCCAC定例会議
群馬県気候変動適応センター(グリーンイノベーション推進課)



目次

1. 連携の概要
2. 経緯
3. 呼びかけ体制
4. 販売員さんの感想・今後の課題

1. 連携の概要

群馬ヤクルト販売株式会社と連携し、

熱中症警戒アラート発令時に、ヤクルトスタッフが訪問先の高齢者等へ注意喚起をする取組を実施しました。

【注意喚起】

- ・「熱中症警戒情報」等（通称：熱中症アラート）が発令されていること
- ・外出を避け、エアコンや扇風機を上手に使って涼しい屋内で過ごすこと
- ・こまめに水分補給すること

○報道提供資料リンク

[【7月19日】群馬ヤクルト販売株式会社と連携し高齢者等への熱中症予防の呼びかけを始めます\(グリーンイノベーション推進課、感染症・がん疾病対策課\) - 報道提供資料 - 群馬県ホームページ\(グリーンイノベーション推進課\) \(pref.gunma.jp\)](#)

期間：令和5年7月～

2. 経緯

- 気候変動適応法の改正に伴い、熱中症対策の強化を保健部局と検討。
- 群馬ヤクルト販売(株)は、県と「健康づくり推進連携協定」を締結している。また、普段からCSR活動にも積極的に取り組まれている。
- ヤクルト販売員は救命救急処置講習を受講したり、認知症サポーターの資格を有している。
- 热中症対策のための呼びかけについて相談したところ、協力を得ることができた。

庁内役割分担

環境部局(グリーンイノベーション推進課)

- 全体調整

保健部局(感染症・がん疾病対策課)

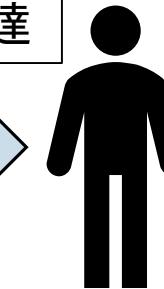
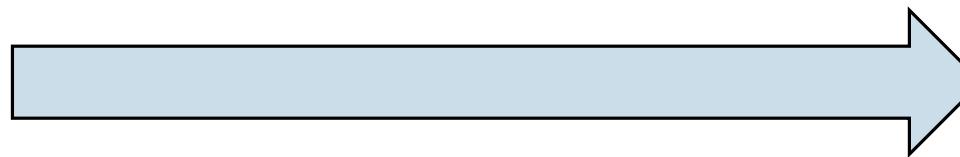
- アラート発生時の伝達

3. 呼びかけ体制



群馬県

①アラートが発生した際は、
群馬県(感染症・がん疾病対策課)からその旨伝達



②担当者から
各販売員へ伝達

群馬ヤクルト販売(株)担当者

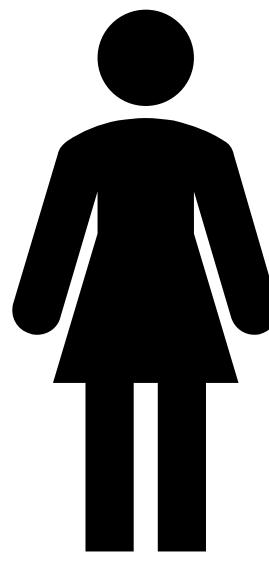


③

- 訪問時に普及啓発資料を提示し説明
- エアコン未使用者に使用を促す

県内各地の販売員

4. 販売員さんの感想・今後の課題



販売員

【感想】

- 熱中症警戒アラートについては、把握している住民としていない住民の差が大きかった。
- 高齢者は、午前中はエアコンをつけずに、午後からつける方も多い。
- 電気代を気にして、少しでもつける時間を少なくしようとする人もいる。
- チラシを配布するだけだと読まないので、その場で説明するなど工夫した。

【要望】

- 住民にわかりやすく伝える題材がほしい。
 - 省エネなエアコンの使用方法、搬送患者数の最新データ、専門的な熱中症対策の方法と効果
- 県と連携していることを対外的に示せるものがほしい。
 - バッジなど

→普及啓発の題材など、来年度に向けて検討中